

第3章 津波の発生と国際社会の対応

3-1 津波の発生と国際社会の対応の経緯

2004年12月26日午前9時58分(日本時間)にインドネシアの北スマトラの西岸沖でマグニチュード9.0と推定される大地震が発生した。地震の規模は過去40年間で最大とされ、それに伴い発生した大規模な津波とともにインド洋沿岸諸国に極めて大きな被害を及ぼした。これによる被災者は約206万人、死者・行方不明者数は約23万人、被害総額は68億ドルを超えた⁵。死者・行方不明者数において特に大きな被害を出したのは、インドネシア、スリランカ、インド、タイであった。また、モルディブでは人的被害は相対的に少なかったものの、その経済損失はGDPの80%に達した。尚、被害者には現地に滞在中であった欧米や日本を含む外国人も多数含まれ、邦人40名の死亡が確認された。

表3-1 各国別死者・行方不明者数

国名	人数
インドネシア	167,540
スリランカ	35,322
インド	16,269
タイ	8,212
ソマリア	289
モルディブ	108
マレーシア	75
ミャンマー	61
タンザニア	13
セイシェル	2
バングラデシュ	2
イエメン	2
南アフリカ	2
ケニア	1
合計	227,898

出所:TEC, "Joint evaluation of the international response to the Indian Ocean tsunami: Synthesis Report" July 2006

この未曾有の災害に対して、国際社会は迅速に反応した。2005年1月1日までには40以上の国が支援を表明し、誓約合計額は20億ドルを超えていた⁶。1月6日にはジャカルタでASEAN主催緊急首脳会議(津波サミット)が開催され、29の国と地域、国際機関の代表が参加した。津波サミットにおいては、アナン国連事務総長(当時)より半年間の緊急支援ニーズに対応するべく総額9億7千7百万ドルのフラッシュアップが発出されるとともに、国際社会に対して中長期的な復旧・復興に必要な資金の提供が呼びかけられた。1月11日には、ジュネーブ国連欧州本部において、70か国の代表が参加して国連主催による閣僚級ドナー会合が開催された。1月12日より開催されたパリクラブ会合において日本を含む債権国は、これらの被災国に対して債務返済を当面猶予することを合意した。また、津波サミットにおける小泉首相(当時)の提案により1月18~22日に神戸で開催された国連防災世界会議において

特別セッションが設けられ、インド洋をはじめとするグローバルな津波早期警報システムの構築についての議論が行われた。

支援国による連携体制を形成する動きとしては、初動段階においては米国の提案により形成された米国、日本、オーストラリア、インドの4か国を中心とするコア・グループがドナー国・

⁵ 内閣府「平成18年版防災白書」

⁶ UN Press Briefing (January 1, 2005)

機関の主導・調整を図った。2005年1月6日の津波サミット開催以降は国連を中心とした協調態勢が形作られ、国連人道問題調整事務所(OCHA)が緊急支援における調整を担った。国連は2005年2月、世界の注目を持続して被災国への長期的な復旧・復興支援を確保させることを目的として、クリントン前米国大統領を2年間の任期で津波復興特使に任命した。

尚、国際社会は被災直後より、緊急援助隊派遣や物資供与等の緊急人道支援を活発に行ってきたが、多数の国が軍隊を派遣して緊急救援・支援活動を行った。インドネシアへ派遣を行った主な国は、米国、欧州各国(フランス、ドイツ、スイス、デンマーク、スペイン等)、ASEAN各国(シンガポール、マレーシア、ブルネイ)、オーストラリア、ニュージーランド、インド、パキスタン、日本等である。スリランカに対しては、米国、英国、オーストラリア、カナダ、オーストラリア、インド、パキスタン、バングラデシュ等が派遣を行っている。モルディブへは英国、フランス、オーストラリア、パキスタン、インド等の国から派遣がなされた⁷。

3-2 国際社会からの津波支援表明額の状況

このような未曾有の大災害に対する国際社会からの関心の高さは、自然災害に対する過去最大規模の資金支援となって表れ、民間からの寄付を含めた支援表明の総額は少なくとも135億ドルに達した(表3-2)。政府によるプレッジ額は59億ドルであり、その中で米国、ドイツ、欧州委員会(EC)、日本、フランス、オーストラリアの6ドナーによる表明額で全体の半分以上を占めた⁸。

表3-2 国際社会からの援助資金の流れ

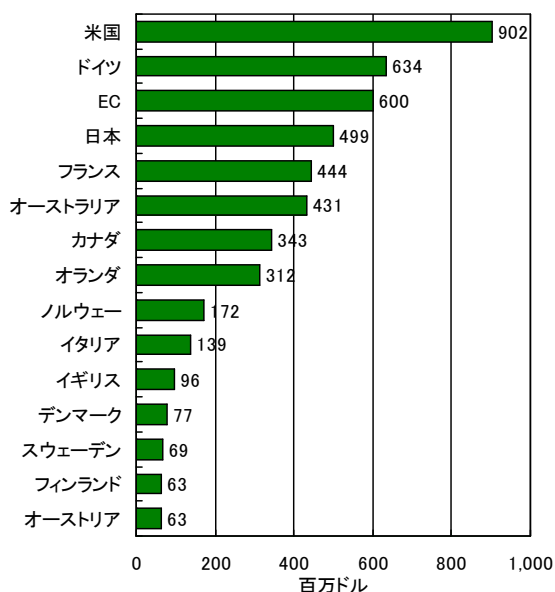
資金ソース	金額(百万ドル)
政府からの拠出表明	5,917
OECD/DAC加盟国政府	5,324
DAC非加盟国政府	593
民間からの寄付	5,491
NGOへの民間からの寄付	3,214
国連機関(主にUNICEF)への民間からの寄付	494
赤十字への民間からの寄付	1,783
国際金融機関からの拠出表明	2,095
合計	13,503

出所: TEC, "Joint evaluation of the international response to the Indian Ocean tsunami: Synthesis Report" July 2006

⁷ TEC, "Joint evaluation of the international response to the Indian Ocean tsunami: Synthesis Report", July 2006

⁸ OECD (December 8, 2005). データは2005年9月30日現在。

図 3-1 DAC 加盟主要国のプレッジ額



出所：TEC, “Joint evaluation of the international response to the Indian Ocean tsunami: Synthesis Report” July 2006

Tsunami Evaluation Coalition が実施した津波支援に対する合同評価によると、135 億ドルの支援表明総額は、津波が及ぼした経済インパクトの見積額 99 億ドルを上回るものであったが、その配分バランスは必ずしも適切とはいえず、実際のニーズに従っていなかった。その理由は、確認されたニーズに沿って支援の優先順位が決定されるのではなく、目立ち易さ、政治的要因、特定地域や外交上の関心、地理的近接性、津波前のプレゼンスといった要素によって決定されていたからとされる。

また、約定(コミットメント)額ベースでの支援先の内訳を見ると、インドネシア、スリランカ、インド、モルディブ 4 か国に集中しており、それぞれ全体の 37%、24%、13%、3%となっている⁹。津波がこの地域

に引き起こした経済インパクト全体の国別内訳(例えば、インドネシアは全体の 45%)や人的被害(インドネシアの被災者数は全体の 54%)と単純に比較すると、インドネシアへの支援は過小であり、スリランカとモルディブ向けは過大であるといえる¹⁰。

3-3 国際社会からの津波支援の実績

以下では、国際社会からのインドネシア、スリランカ、モルディブの3か国に対する津波支援の実績を示す。

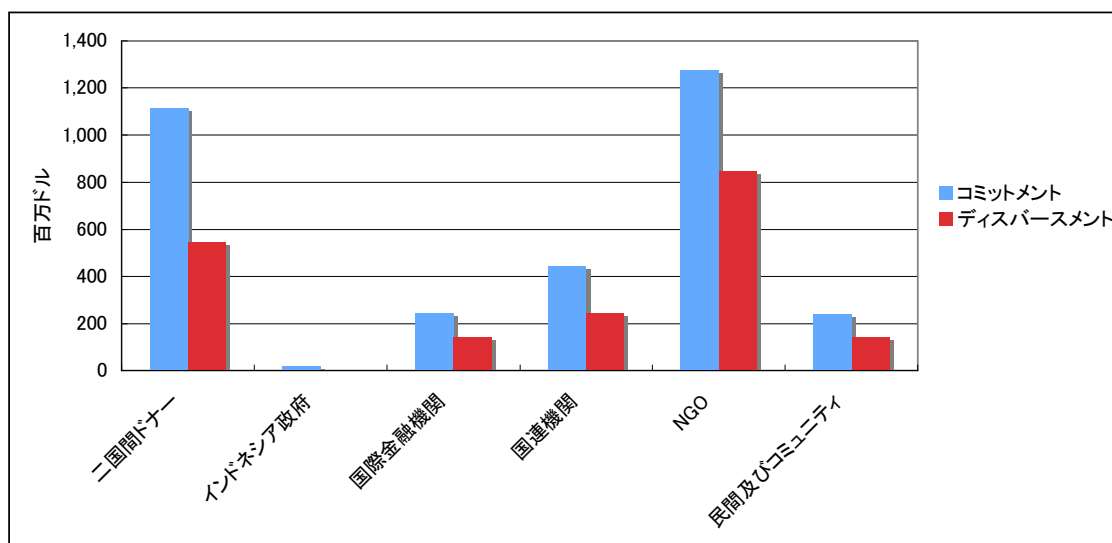
⁹ TEC, “Joint evaluation of the international response to the Indian Ocean tsunami: Synthesis Report”, July 2006. この他に、国を特定しない支援が 23%を占める。

¹⁰ 同上、並びに ADPC, “Regional Analysis of Socio-Economic Impacts of the December 2004 Earthquake and Indian Ocean Tsunami”, October 2005

3-3-1 インドネシア

インドネシアに対する国際社会からの津波支援の概要は以下のとおりである。

図 3-2 拠出機関の種類別津波支援額(国内外政府、国際金融・国連機関、NGO 等)



	(百万ドル)		(%)	
	コミットメント	ディスバースメント	コミットメント	ディスバースメント
二国間ドナー	1,116	548	33%	28%
インドネシア政府	18	2	1%	0%
国際金融機関	243	144	7%	7%
国連機関	442	246	13%	13%
NGO	1,275	849	38%	44%
民間及びコミュニティ	242	142	7%	7%
合計	3,336	1,930	100%	100%

注: データは 2007 年 11 月 21 日現在のもの。

出所: BRR, RANDatabase

表 3-3 国別津波支援額(外国政府及びインドネシア政府)

Country	(USドル)			(%)	
	Pledge	Commitment	Commitment/Pledge	Pledge	Commitment
United States of America	503,150,000	815,431,246	162%	21%	34%
Germany	218,955,000	362,519,693	166%	9%	15%
UK (United Kingdom)	97,040,000	184,862,134	191%	4%	8%
Canada	205,469,086	169,363,188	82%	9%	7%
Australia	381,733,790	162,371,234	43%	16%	7%
Japan	146,874,243	151,041,433	103%	6%	6%
Netherlands	415,516,000	95,617,604	23%	17%	4%
France	13,720,000	89,721,256	654%	1%	4%
Indonesia		64,154,611		0%	3%
Switzerland	10,000,000	52,036,006	520%	0%	2%
Singapore	13,040,000	24,466,327	188%	1%	1%
Spain	5,260,000	20,190,661	384%	0%	1%
Ireland	1,200,000	20,175,976	1681%	0%	1%
Turkey	18,729,625	20,103,463	107%	1%	1%
Korea, Republic of		19,413,000		0%	1%
Saudi Arabia	100,000,000	19,235,536	19%	4%	1%
Norway	18,740,000	18,914,055	101%	1%	1%
Italy	37,324,377	15,203,023	41%	2%	1%
Belgium	10,890,000	13,319,233	122%	0%	1%
China	36,300,000	12,827,842	35%	2%	1%
Hong Kong		12,196,039		0%	1%
Denmark	63,730,000	9,701,024	15%	3%	0%
Bangladesh		9,325,000		0%	0%
Qatar		9,056,781		0%	0%
Sweden	20,720,000	8,356,627	40%	1%	0%
New Zealand	8,800,000	7,812,970	89%	0%	0%
Malaysia		7,469,475		0%	0%
Austria		5,144,502		0%	0%
Total	2,393,391,925	2,425,681,386	101%	100%	100%

注: 二国間ドナー、NGOからの支援を含み、国際機関、国際金融機関、民間及びコミュニティからの支援を除く。
プレッジのデータソースは大使館他。

コミットメントのデータソースは2007年11月21日のRANDatabase。

出所: BRR

3-3-2 スリランカ

スリランカに対する国際社会からの津波支援の概要は以下のとおりである。

表 3-4 資金形態・拠出機関別津波支援額

	(Unit: US\$mn)		(%)		
ローン	Amount Agreed	Amount Utilized	Amount Agreed	Amount Utilized	Utilized/Agreed
JBIC	95.8	60.5	10.3%	38.3%	63.2%
ADB	7.0	1.8	0.8%	1.1%	25.7%
WB	85.0	60.5	9.1%	38.3%	71.2%
Kuwait	20.0		2.2%	0.0%	0.0%
IFAD	16.5		1.8%	0.0%	0.0%
Spain	53.0	1.4	5.7%	0.9%	2.6%
Korea (EFCF)	20.0		2.2%	0.0%	0.0%
France	87.0		9.4%	0.0%	0.0%
Euro I B	90.0	33.8	9.7%	21.4%	37.6%
China	455.0		49.0%	0.0%	0.0%
小計	929.3	158.0	100.0%	100.0%	17.0%
グラント	Amount Agreed	Amount Utilized	Amount Agreed	Amount Utilized	Utilized/Agreed
Japan	89.3	52.8	11.8%	21.9%	59.1%
WB	90.0	50.7	11.9%	21.0%	56.3%
ADB	158.0	28.0	20.9%	11.6%	17.7%
Australia	7.4	2.7	1.0%	1.1%	36.5%
China	18.0	2.0	2.4%	0.8%	11.1%
Spain	2.0		0.3%	0.0%	0.0%
Sweden	12.8		1.7%	0.0%	0.0%
Korea	19.9	1.4	2.6%	0.6%	7.0%
India	23.0	1.4	3.0%	0.6%	6.1%
Germany	102.5	25.8	13.6%	10.7%	25.2%
USA	59.6	17.4	7.9%	7.2%	29.2%
Netherlands	16.0	14.4	2.1%	6.0%	90.0%
Denmark	8.0	5.6	1.1%	2.3%	70.0%
Iceland	1.0		0.1%	0.0%	0.0%
Venezuela	6.2		0.8%	0.0%	0.0%
Switzerland	15.5	12.3	2.0%	5.1%	79.4%
EC	126.9	26.4	16.8%	11.0%	20.8%
小計	756.1	240.9	100.0%	100.0%	31.9%
オフバジェット	Amount Agreed	Amount Utilized	Amount Agreed	Amount Utilized	Utilized/Agreed
UNFPA	11.3	10.8	1.0%	2.0%	95.6%
UNICEF	136	96.3	12.2%	17.4%	70.8%
FAO	25.7	21.9	2.3%	4.0%	85.2%
WFP	49	50.1	4.4%	9.1%	102.2%
UNDP	17.6	15.52	1.6%	2.8%	88.2%
Hungary	22		2.0%	0.0%	0.0%
Norway	9.8		0.9%	0.0%	0.0%
Switzerland	1.9	1	0.2%	0.2%	52.6%
Italy	71.5	4.4	6.4%	0.8%	6.2%
NGOs	773	352	69.2%	63.8%	45.5%
小計	1117.8	552.02	100.0%	100.0%	49.4%
デットリリーフ	Amount Agreed	Amount Utilized	Amount Agreed	Amount Utilized	Utilized/Agreed
小計	287.6	279.3			97.1%
総合計	3090.8	1230.2			39.8%

注: Post-Tsunami Recovery and Reconstruction 報告書によれば、グラントの合意額と活用額はそれぞれ750.1millionUSドル、240.8millionUSドルとなっている。これは集計時の計算ミスと考えられる。

Data as of Dec.31, 2006

出所: Sri Lanka Post-Tsunami Recovery and Reconstruction, December 2006

3-3-3 モルディブ

モルディブに対する国際社会からの津波支援の概要は以下のとおりである。

表 3-5 拠出機関別津波支援額

Donor	(US\$)			(%)	
	Committed	Disbursed	To be disbursed	Committed/Committed Total	Disbursed/Disbursed Total
ADB	62,356,922	24,585,104	37,771,818	10.8%	7.5%
European Investment Bank	60,000,000	45,000,000	15,000,000	10.4%	13.7%
UNICEF	56,580,978	56,580,978	0	9.8%	17.2%
IFRC	52,859,267	38,933,312	14,465,955	9.2%	11.7%
Japan *	47,490,509	18,296,601	29,193,908	8.3%	5.6%
British Red Cross	36,722,910	15,492,247	21,230,663	6.4%	4.7%
Kuwait	27,584,300	15,925,000	11,659,300	4.8%	4.8%
WB	26,453,662	12,634,335	13,819,327	4.6%	3.8%
French Red Cross	26,419,753	863,652	17,785,101	4.6%	2.6%
American Red Cross	18,022,142	10,168,130	7,854,012	3.1%	3.1%
Gov. of Maldives	17,551,623	5,343,741	12,207,882	3.1%	1.6%
To be identified	14,858,418	596,928	14,261,490	2.6%	0.2%
OCHA	12,575,000	12,751,192	-176,192	2.2%	3.9%
Saudi Fund for Development	12,500,000	0	12,500,000	2.2%	0.0%
NIO Bank	10,512,062	7,542,312	2,969,750	1.8%	2.3%
State Bank of India	10,000,000	0	10,000,000	1.7%	0.0%
Canadian Red Cross	9,843,096	637,810	3,464,988	1.7%	1.9%
RaboBank	9,825,123	7,542,312	2,282,811	1.7%	2.3%
USA	8,650,000	301,205	8,348,795	1.5%	0.1%
German Red Cross	6,707,711	1,969,168	4,738,543	1.2%	0.6%
Australian Red Cross	5,315,832	4,247,812	1,068,020	0.9%	1.3%
Norway	4,911,897	4,911,897	0	0.9%	1.5%
New Zealand	4,423,758	4,423,758	0	0.8%	1.3%
IFAD	4,264,500	400,000	3,864,500	0.7%	0.1%
EC	2,879,469	2,879,469	0	0.5%	0.9%
Australia	2,224,641	2,224,641	0	0.4%	0.7%
UN Foundation	2,162,226	2,114,802	47,424	0.4%	0.6%
China	2,146,450	2,146,450	0	0.4%	0.7%
Belgium	2,142,793	1,521,555	621,238	0.4%	0.5%
France	2,141,983	1,536,633	605,350	0.4%	0.5%
Finland	1,848,247	1,848,247	0	0.3%	0.6%
ECHO	1,368,930	1,368,930	0	0.2%	0.4%
Germany	1,357,000	1,357,000	0	0.2%	0.4%
UK	1,159,113	1,159,113	0	0.2%	0.4%
Canada	1,157,738	1,157,738	0	0.2%	0.4%
Saudi Red Crescent	1,047,339	142,917	904,422	0.2%	0.0%
Greece	1,008,376	1,008,376	0	0.2%	0.3%
Trinidad and Tobago	1,008,173	1,008,173	0	0.2%	0.3%
UNDP	763,005	763,005	0	0.1%	0.2%
UN Habitat	654,115	654,115	0	0.1%	0.2%
Netherlands	602,410	602,410	0	0.1%	0.2%
UN	572,739	572,739	0	0.1%	0.2%
WFP	352,000	352,000	0	0.1%	0.1%
Islamic Development Bank	350,825	350,825	0	0.1%	0.1%
Hong Kong red Cross	321,685	0	321,685	0.1%	0.0%
FAO	300,000	300,000	0	0.1%	0.1%
Luxembourg	257,207	257,207	0	0.0%	0.1%
Portugal	227,943	227,943	0	0.0%	0.1%
Switzerland	187,450	187,450	0	0.0%	0.1%
Nigeria	176,192	0	176,192	0.0%	0.0%
UNFPA	150,000	150,000	0	0.0%	0.0%
Private Funds	146,943	146,943	0	0.0%	0.0%
Mauritania	100,336	100,336	0	0.0%	0.0%
Korea	100,000	100,000	0	0.0%	0.0%
Rotary International	22,793	22,793	0	0.0%	0.0%
Flinders Council, Tasmania, Australia	10,868	10,868	0	0.0%	0.0%
Tuvalu	10,000	10,000	0	0.0%	0.0%
Total	575,388,452	328,401,470	246,986,982	100.0%	100.0%

注: 日本の援助には JBIC の下水道と港湾の再建 25,590,000USドルを含む。

Data as of October 11, 2007

出所: モルディブ政府